

# 熊本県立荒尾支援学校進路便り

# わーく&らいふ

令和6年度 第11号（通巻98号）3月14日発行

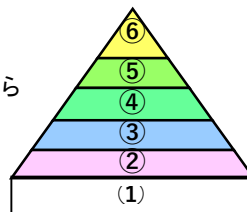
## ■CONTENTS■

【トピック】働く（社会参加する）ために必要な力  
～職業準備性のピラミッドを用いたアンケート～について

本校進路指導部では、働く（社会参加する）ために必要な力を知るために、本校卒業生がお世話になっている荒尾・玉名郡市の一般企業に職業準備性のピラミッドを用いたアンケートを行いました。その結果をもとに、一般企業から重要視されること、力を入れておいた方がよいことについて、今回紹介します。

### 【職業準備性のピラミッドとは】

働く上で必要な能力について、階層的に示したものです。下層から①ADL（日常生活動作）、②健康管理・体調管理、③日常生活・生活リズム、④対人能力、⑤基本的労働習慣、⑥職業適性の順になっており、安定的に働くためには、各段階のスキルがバランスよく備わっていることが大切です。具体的には、下記のとおりです。



⑥職業適性	指示理解、正確性、作業速度、作業能率、向上、適応力など
⑤基本的労働習慣	意欲、態度、持続力、ルール理解、報告・連絡・相談、休まないなど
④対人能力	挨拶、会話、言葉遣い、協調性、共同作業、感情のコントロール、意思表示など
③日常生活・生活リズム	生活リズム、余暇、金銭管理、移動能力、社会性（生活のルールを守る）など
②健康管理・体調管理	食事、休養、体調不良時の対処、通院、服薬など
①ADL（日常生活動作）	生活上最も基本的なこと（立つ・起きる・歩くなどの体の動作、食事、更衣、排泄、入浴、整容など）

①～⑥において、最も重要視するを5点、ある程度重要視するを3点、あまり重要視しないを1点とし、数値化を行い、重要度を示しました。

【結果1：重要度】【一般企業】回答6件 ※重要度の高い順から

①ADL > ②健康管理・体調管理 > ③日常生活・生活リズム⑤基本的労働習慣 > ④対人能力 > ⑥職業適性

一般企業においても、①ADL（日常生活動作）を最も重要視されていることが分かりました。

### 【結果2：各段階において必要とされるスキル】

ADL	・仕事内容が環境整備なので、体の動きや清潔であることは非常に大切（ビルメンテナンス業） ・工場のモノ作りは日常生活動作が基本（製造業）
健康管理・体調管理	・健康・体調の自己管理ができて、安定した出勤が必要（製造業） ・毎日働くための体力（まずは職場に来る）（製造業）
日常生活・生活リズム	・根気強く関わる親や周囲の大人がどれくらい勉強し、努力するか（ビルメンテナンス業） ・日々の生活リズムを整え、就業時間内の集中力を保つ力が必要（製造業）
対人能力	・あいさつは必須としたいが、他は一人一人みんな違うのである程度重要視する。愛嬌があると可愛がられる（ビルメンテナンス業） ・嘘をつかない。分からないときは「わかりません」という意思表示ができる（製造業）
基本的労働習慣	・安全第一。全てのルール理解と順守（製造業） ・出勤が安定すること（製造業）
職業適性	・間違いがクレームにつながるので、正確性が必要（製造業） ・色々なことにチャレンジしてみる意欲は必要（製造業）

### 【結果3：卒業生を採用した決め手】（アンケートより一部抜粋）

- ・真面目な勤務態度で、指示に従い正しい作業ができる。
- ・やる気がある。指示した内容は、時間が掛かるが、最後までやり遂げる。
- ・何回もやりとりする中で、自分の気持ちや本音を話してくれた点。
- ・基本的な動作（生活習慣）ができています。

【取組】これらの結果を受けて、小学部一般学級4年生の取組を紹介します。

日常生活の指導

体育

道徳「働くってなに？」

「自分でできることは自分で」「できることを増やす」「できることの質を高める」の意識で、取り組んでいます。

継続した取組で体力の向上に努めています。

進路指導主事から、はたらくかっこいい大人になるために今からできることを教えてもらいました。

### 編集後記

今回の結果に加え、R3年度に実施した福祉サービス事業所対象のアンケート結果を踏まえると、一般企業、福祉サービス事業所ともに、ADL（日常生活動作）が最も重要視されており、次いで健康管理、生活リズムの順になっていました。これらは、学校はもちろん、家庭で早期から取り組めることであり、家庭と連携しながら小学部段階から取り組んでいく必要があると感じました。将来の進路選択肢を増やすためにも、日々の小さな積み重ねを大切にしていきたいものです。（文責：宮本）